



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 **3**



1月29日(月)、近畿ブロック22団体・機関による実行委員会が食品表示をテーマに「平成29年度 地方消費者フォーラム in おおさか」を開催、253人が参加しました。講演や参加団体の壁新聞（活動報告）での情報交換、今日学んで気付いたことや食品表示について関心のあることをグループで話し合いました。（関連ページP.8）





神戸医療生活協同組合 常務理事
兵庫県生活協同組合連合会 理事

松永 俊一

(まつなが・しゅんいち)

誰もが安心してらせる まちづくり

神戸医療生協は、『地域包括ケアシステム』の導入がすすめられるなかで、これまで培ってきた「三つの輪（健康の輪・助け合いの輪・世直しの輪）」の実践で、「誰もが安心してらせるまちづくり」の運動をすすめています。

健康の輪

健診受診の促進や健康チェックの実施で、病気の早期発見や早期治療に結びつけるとともに、「健康チャレンジ」のとりくみなど、生活習慣をみなおすことで、病気の予防にも努めています。2018年度はコープこうべなど購買生協と一緒に「健康チャレンジ」にとりくみますので、さらに「地域まるごと健康づくり」が広がることを期待しています。

助け合いの輪

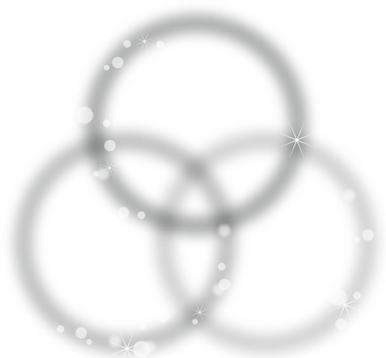
組合員同士の助け合い活動や医療介護の専門家との連携をはじめ、行政や地域のいろいろな団体とも連携を図り、住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。有償ボランティア「とんとん」ではゴミ出しや話し相手、通院介助などさまざまな身近な困りごとが依頼として寄せられ、組合員同士の助け合いが広がっ

ています。

世直しの輪

人の命と健康にかかわる事業と運動を行っている医療生協としては、「競争」につながる動きには反対です。憲法を守り、平和で人権が尊重される社会づくりをすすめています。また「ヒバクシャ署名」など核兵器廃絶のとりくみにも積極的にとりくみます。安心してサービスが受けられるよう医療・介護などの社会保障制度の充実を求める運動も引き続きとりくみます。

運動をすすめていくには、個人や一組織だけでは、限界があります。生協間連携や地域の他団体との連携、行政等との連携など、あらゆるつながりを活かしながら運動をすすめていくことができればと思っています。



CONTENTS

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 2. 想点 3. 第5回理事会 報告／おくやみ／
兵庫 JCC「虹の仲間づくりカレッジ」 4. 兵庫 JCC「虹の仲間づくりカレッジ」実践 5. 単協通信 たじま医療生活協同組合／
生活協同組合コープこうべ | <ul style="list-style-type: none"> 6. 協同組合のかけ橋 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 8. 「地方消費者フォーラム in おおさか」報告／
県連日誌／編集後記 |
|--|--|

2017年度 兵庫県生協連 第5回理事会報告

【開催日時】2018年2月5日(月) 午後2時～3時55分

【開催会場】兵庫県民会館 12階「1201」

【出席者】木田会長理事、高橋副会長理事、田中専務理事、新保、岡本、大沼
藤井、松永、福島、西谷、本多（以上、理事）、金丸、岡村（以上、監事）

協議事項

- (1) 2017年度決算見通しと2018年度予算計画案について
- (2) 2017年度活動報告及び2018年度活動計画案について
- (3) 役員選任について
- (4) 2018年度第68回通常総会に向けての手順スケジュール案について

報告事項

- (1) 分野別生協（出席理事、監事）からの状況報告について
- (2) 前回理事会～2月上旬までの兵庫県生協連行事、活動報告について
- (3) 2018年2月～の「兵庫県生協連主要行事スケジュール」について
- (4) その他

おくやみ

岡田 勇様（神戸市民生活協同組合 専務理事・兵庫県生活協同組合連合会 理事）が
2018年2月20日、ご病気のため永眠されました。
謹んでご冥福をお祈りいたします。



県内協同組合の職員交流を通して協同組合間協同を実現する 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」

県下の生協・JA・JF・森林組合の4つの協同組合から構成される兵庫県協同組合連絡協議会（兵庫JCC）を中心に次世代を担う職員同士が顔の見える関係をつくり、くらしや地域、社会のなかで果たすべき役割について、ともに考える「虹の仲間づくりカレッジ」。第3回目が2月14日(水)～15日(木)コープこうべ協同学苑（三木市）で開催され、14人が参加しました。

今年度の最終回となる今回は、10月～1月に実践した「生産」「環境」「地域コミュニティ」が抱える課題を協同組合として解決する「職員ボランティア活動」企画（P4参照）の検証（成果や課題）を行いました。また、実践や全国の協同組合間協同の事例を「SDGs」と重ね、これから協同組合間協同で取り組む企画を業務・ボランティア活動、両方の視点から考えました。

最後に一人ひとりが明日から取り組む事について決意表明し、協同組合の理念を学び、互いの協同組合を知り、つながる「虹の仲間づくりカレッジ」を終了しました。



【兵庫県協同組合連絡協議会＝兵庫 JCC (Joint Committee of Co-operatives)】

生協、JA（農協）、JF（漁協）、Jforest（森林組合）など、兵庫県内の協同組合運動相互の連携、そして全国、海外の協同組合運動との連携をはかることを目的に1984年7月7日に設立されました。「人とひとの心がふれあう、暮らしよい兵庫をめざして～協同が息づくまちづくり～」を基本理念に活動しています。

兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」

実践

◆かいほり「ため池・里海交流保全活動」

12月16日(土) 南あわじ市湊里「谷田池」「西ノ池」 ●92人参加●

農村（高齢化等により、ため池の適正な維持管理が困難）と漁村（排水処理施設の整備等による海の栄養塩減少）が抱える問題を農業者・漁業者・ボランティアが一緒になり行うかいほりの活動。



液状にした泥の掻き出し作業



大学生を含む多くのボランティアが参加

◆森林整備「冬の社家GO活動を体験しよう」

1月14日(日) 西宮市越水社家郷山「コープの森・社家郷山」 ●40人参加●

生態系・森林保全の必要性を散策や除伐体験を通して、学びながら森林整備を進める活動。



散策しながら里山について学習



除伐体験

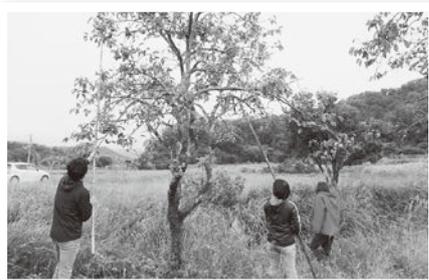
◆獣害対策「さる×はた合戦」

10月15日(日) 篠山市畑地区「瀬利集落」 ●7人参加●

獣害の原因となっている、人手が足りず集落で放置された柿を地域内外の人で採り、猿の出没を抑える活動。



電気柵設置や捕獲檻など獣害対策について学習



柿採り

神美支部新年会

1月22日(月)豊岡市の神美地区コミュニティセンターで神美支部新年会を行い、18人が参加しました。支部では組合員の高齢化が進み、どのように要介護(要支援)認定の申請をすればよいか、介護施設に入所するためにはどのような手続きが必要かといった疑問が以前から出ていました。

そこで今回は、居宅介護支援事業所「えがお」の山崎主任ケアマネジャーが、施設入所についての話をしました。まず、介護保険の仕組みを簡単に説明し、どのような介護施設があるのか、またどこにあるのかなをお話しました。

最近増えているサービス付き高齢者向け住宅の話では「けっこう料金が高いんやなあ」という声がありました。特別養護老人ホームが、豊岡市にはこれ以上建設されないという話には「そこに入りたかったのに、入るのも難しそう」という声が上がっています。



した。

実際に入所申込書を用いての説明では、記入のしかたや提出の流れ、また入所待ちの時のコッなどの説明があり「入所手続きはややこしそうやと思っていたけど、説明を聞いたらよくわかったわ」との感想が聞かれました。

参加できなかった職員からも「介護事業所のある法人として資料だけでもほしい」という声が上がっており、今後法人内でも勉強会をする必要性を感じました。

たじま医療生活協同組合は「住み慣れた地域で安心して住み続けられるまちづくりをすすめる」というテーマを掲げて運動を進めています。色々な事情で施設入所されるまでは、組合員の要望をくみとり、介護・医療が一体になって地域まるごと健康づくりを進めていきます。

(通信員 春木圭介)

「神戸ハイカラメロンパン チョコメロワッサン」デビュー!

2月1日(木)、8つの「神戸メロンパン」新作発表会を神戸ハーバーランドのホテルラ・スイートで開催しました。

神戸が発祥の地とされる「ラグビーボール形」のメロンパンを当地フードにするために、パン店、高校生、大学生と一緒に取り組んでいる「神戸メロンパンご当地フード化計画(KMG)」。

若い世代やラグビーボール形メロンパンを知らない人にも知ってもらおうと、店舗・団体ごとに今までにない次世代メロンパンを考案しました。コープこうべからは商品開発コンテストに参加してくれた、神戸山手女子高等学校の生徒たちによる「神戸ハイカラメロンパン チョコメロワッサン」を発表。

店舗や宅配で利用できますので、ぜひ味わってください。



発表の様子は、読売新聞、神戸新聞、毎日新聞、産経新聞やNHK、サンテレビのニュースでも紹介されました。8つの次世代メロンパンの詳細は「神戸メロンパンご当地フード化計画 c o m」を検索してください。

(通信員 榊原晶子)



協同組合のかけ橋

JF

JF 兵庫漁連

のり加工センター竣工

JF 兵庫漁連が姫路市白浜町の妻鹿漁港に建設を進めてきた「兵庫県のり加工センター」が完成し、1月13日(土)に関係者へ施設披露されました。

その後、場所を姫路駅前のホテルに移し、竣工祝賀会を開催しました。

祝賀会では、JF 兵庫漁連 田沼 政男会長から当センター完成に携わられた関係者、県下 JF・系統団体、ノリ入札指定商社への謝辞と「兵庫県の主幹漁業の一つである『兵庫のり』の更なる PR のため努力する」と挨拶し、設計・建設の各担当会社へ感謝状と記念品の贈呈が行われました。

来賓として兵庫県農政環境部 藤澤 崇夫 部長、兵庫県のり入札商組合 松谷 晃 理事長より祝辞をいただいた後、来賓による鏡開きが行われ、小浅商事株式会社 白羽 一 代表取締役社長の乾杯で祝宴に入り、JF 兵庫漁連 東根 壽 副会長の挨拶で閉会となりました。

のり加工センターが『兵庫のり』の更なる普及と「安心・安全」な製品づくりの拠点となることが期待されています。



兵庫県のり加工センター



来賓による鏡開き

JA

JA グループ兵庫

JA 女性営農指導員によるプロジェクト 統一ユニフォーム作成や 広島県との意見交換会

JA 兵庫中央会は、女性営農指導員の機能発揮と活性化を目的に、「JA 女性営農指導員によるプロジェクト検討会」を28年度から開催し、JA みのり、JA 兵庫南、JA 兵庫西、JA ハリマ、JA たじま、JA あわじ島の女性営農指導員12人が参加しています。

検討会の中で、モチベーションアップと機能性の向上につなげるためのユニフォーム作成を企画し、JA 全農兵庫の協力のもと、昨年10月に統一ユニフォームを作成しました。昨年末、作成したユニフォームを着用し「イオン神戸南」で「兵庫県産フェア」を開催しました。試食コーナーの設置やレシピ等を配布し、6JA の特産品23品目を PR しました。

また、2月には、本県と同様に女性営農指導員のプロジェクト活動を行っている広島県の JA グループと、交流および相互研鑽を目的とした意見交換会を、JA 兵庫南の6次産業化拠点「にじいろふぁ～みん」で実施。広島県から6JA 等7人、兵庫県から6JA12人の計19人の女性営農指導員が参加しました。

当日は、施設内の視察を行った後、各県の取り組み内容をはじめ、直売所の品揃え対策や6次産業化等について活発な意見交換を行いました。また、今後の両県の連携についても、前向きな提案が出されました。参加者からは、「今回の意見交換で、抱えている課題や取り組むべき方向性は同じだと分かった。今後も、両県の交流を継続し、新たな取り組みを模索していきたい」と話していました。



県域を超えて交流する兵庫県と広島県の女性営農指導員



県消費生活相談窓口変更のお知らせ

県が担う消費者被害の防止・救済機能を高度化、専門化するため、地域消費生活センターの相談機能を消費生活総合センター（現 生活科学総合センター）に集約し、体制を強化します。

市町と連携した「但馬消費者ホットライン」を設置・運営している但馬地域につきましては、当面の間、但馬消費生活センターを存置します。

このことに伴い、東播磨、中播磨、西播磨、丹波、淡路の消費生活（創造）センターでの消費生活相談業務は平成30年3月末をもって終了します。

なお、消費者教育・普及啓発や団体支援業務については、各県民局・県民センターで引き続き行います。

◆平成30年度以降の県消費生活相談窓口

消費生活総合センター TEL：078-303-0999

但馬消費生活センター TEL：0796-23-0999

◆問い合わせ先

兵庫県企画県民部県民生活局消費生活課

☎ 078-362-3376

消費者ホットライン ▶ 局番なし 188番 (いやや!)

困ったときは迷わず、消費者ホットラインにお電話ください。

お近くの消費生活相談窓口につながります。



適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

まだまだ、寒い日が続きますね。本当に、この冬の寒さはこたえます。あたたかい春は、もうすぐそこです。

1月20日に、ひょうご消費者ネット主催のシンポジウム「ストップ!ザ泣き寝入り3 in 神戸」が開催されました。

講演いただいたのは、兵庫県警の生活安全部サイバー犯罪対策課の本田英理さんです。講演内容がとても

印象的だったので、今回はそのお話を少し紹介したいと思います。内容は、インターネット社会だから巻き込まれてしまう犯罪やその予防法についてでした。本田さんの語り口は、とても面白くて、ずっと聞いていられそうなものでしたが、内容はぞっとするようなものもありました。私が驚いたのは、本田さんの言われた「インターネットの犯罪では、警察の捜査をもってしてもその相手を突き止められないこともある。だからサイバー60名いる中で、2人が捜査の手を止めて啓発活動に専従せざるを得ない」ということでした。インターネットというものが、これだけ身近でありながら複雑だということを改めて、認識させられました。

今や私たちの生活はインターネットと切っても切れない関係になっています。誰しもインターネットのトラブルに遭う可能性があります。そんな時は、自分のよく知っている相談機関に相談するようにしましょう。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL：078-361-7201 E-mail：office@hyogo-c-net.com

MOVE

平成29年度 地方消費者フォーラム in おおさか

ほんまはどうなん？食品表示

1月29日(月)、新大阪丸ビル別館で「地方消費者フォーラム in おおさか」が開催され、食品表示をテーマに消費者・消費者団体・行政・事業者等253人が参加しました。今年で8回目となるこのフォーラムは、近畿の消費者団体、行政による実行委員会と消費者庁との共催で実施され、多様な主体が相互に情報交換を行い、交流・連携を深めることを目的に近畿各地で毎年開催しています。

「壁新聞交流会」では、コープこうべの「地域でつながるコープこうべの消費者学習」をはじめとする16団体が出展、情報を交換し連携を深めました。消費者庁 橋本 次郎審議官のご挨拶のあと、群馬大学名誉教授 高橋 久仁子氏から「なんか変？ こんな表示」と題して、消費者へのメッセージである食品表示（義務・任意・広告）を読む際に気を付けることや食生活教育の立場から食品の表示に期待することについてお話がありました。また、事業者からは「お客様視点でのパッケージチェック」「食品表示法における表示ルールの主な変更点」について、取り組みの報告がありました。その後のグループトークでは、今日学んで気付いたことや食品表示について関心のあることについて話し合い、様々な交流を通して地域における消費者問題の解決につながる集いの場となりました。



講演 群馬大学名誉教授 高橋 久仁子氏



壁新聞交流会



グループトーク

県連日誌

- 3月5日(月) 兵協連第4回生活問題研究会 (県民会館 301)
- 3月6日(火) 2017年度 ひょうご消費者セミナー (農業共済会館 大会議室)
- 3月8日(木) 兵庫JCC第4回幹事会 (県民会館 ばら)
- 3月9日(金) 兵協連「兵協連だより」通信員・広報担当者研修 (県民会館 1001)
- 3月9日(金)～11日(日) 兵協連 「東日本被災地支援活動」 (宮城県)
- 3月13日(火) 兵協連第2回医療生協部会 (県民会館 ばら)
- 3月15日(木) 兵協連第2回医療生協部会 組織担当者会議 (県民会館 ばら)
- 3月20日(火) 兵協連第6回生協活動委員会 (甲南大学)
- 3月30日(金) 兵協連第3回保健・医療・福祉研究会 (県民会館 301)

編集後記

昨年末、急に花壇に何も無いことが気になり植えた球根(チューリップ)。植えた時期が遅かったので心配していたのですが、漸く芽が出てきました。春がすぐそこまできているのを感じました。少しずつ大きくなる葉を見ることが毎日の楽しみになっています。(大戸)

